



車内の金城学院大学

49限目

「ピアノ音楽史」

「クラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ？」

〔ピアノ誕生の歴史〕

みなさんは、これが何の名前かわかりますか？ これは、ピアノが発明された時に付けられた名前。音楽記号でピアノとは「弱く」、フォルテは「強く」を表し、「弱い音も強い音も出せるチェンバロ」という意味の名がつけられました。ピアノを発明したのはイタリアの楽器製作家、クリストフォリ。その原型となったチェンバロは、鍵盤に連動したツメで弦をはじいて音を出すため、音の強弱をつけにくい楽器でした。そこに不満を抱いたクリストフォリは、鍵盤にハンマーを連動させ、そのハンマーで弦を打ち鳴らすメカニズムを発明し、鍵盤をタッチする加減で強弱表現ができるピアノを生み出したのです。その後ピアノはヨーロッパ各地に伝えられ、様々な改良を経て今のかたちになりました。楽器は、長い歴史の中で試行錯誤が繰り返されながら発展し、今を生きる私たちに豊かな音楽の世界をもたらしてくれるのです。

音楽を深く学び、豊かな表現力を磨く。それが文学部 音楽芸術学科。※2013年4月開設。

強く、優しく。



金城学院大学